

知っていましたか？

アメリカの建築家フランク ロイド ライトは、ピッツバーグ最大のデパートのオーナーであるエドガー・J. カウフマン家の別荘として 1935 年に落水荘を設計しました。

落水荘の土地はもともと、キャビン、テニスコート、ランニングトラック、クラブハウス、スイミングプールを完備したサマーキャンプでした。

落水荘の主屋は、1926 ~ 38 年に主に地元の職人によって建設され、その後 1939 年にゲストハウスが建設されました。

主屋は合計 9,300 平方フィートで、そのうち 4,408 平方フィートは屋外テラスです。ゲストハウスの総面積は 4,990 平方フィートで、そのうち 1,950 平方フィートは屋外テラスです。

建物全体で使用された色は2色のみでした。コンクリートには明るい黄土色、スチールにはライトの特徴であるチェロキーレッドです。

この家の当初の見積もりは 35,000 ドルでした。最終的な総建設費は約 148,000 ドルで、建築士の費用 11,300 ドルが追加されました。



Design & artwork by Ivan Crow | @ivanhowsketches



境内

境内

- A** ビジターセンター | すべての訪問の出発点と、トイレ、ミュージアム ショップ、カフェ、シユバ イアー ギャラリー、ヒルマン教育パビリオンの場所。
- B** メドウ | カutting ガーデンとリンゴ園のあるオープン スペース
- C** 庭師の小屋 | 楽水槽の庭師の元の住居と現在のスタッフ オフィス。
- D** ベアラン | 楽水槽の下を流れる小川で、ペンシルベニア州によって特別価値のある水路に指定されています。
- E** 家 | 落水荘 (フォーリングウォーター) は、建築家フランク・ロイド・ライトがカウフマンの週末の家のために造った名前です。 >>
- F** 採石場 | 家の石壁の建設に使用されるポッツビル砂岩の供給源。
- G** 展望台 | 場所と家が調和した象徴的な眺め。
- H** 鳥の眼の眺め | 家の滝の流れる層が見られます。
- I** 楽園を見下ろすハイキング道 | 往復 1/2 マイルのトレイルで、ヤカゲニ川峡谷の素晴らしい景色を眺めることができます。難易度：簡単。
- J** ロアベアランハイキング道 | ベアランに沿って終点のヤカゲニ川まで続く 1 往復マイルのハイキング路。難易度：普通

歴史



Edger Jonas Kaufmann (1885-1955) は、著名なピッツバーグの家族の家長で、カウフマン百貨店の所有者でした。エドガーと彼の妻リリアン (1889-1952) は生涯を通じて世界中を旅して国際的に有名なアーティスト、建築家、その他の芸術家を探し求めました。エドガー・カウフマン Jr. (1910-1989) は彼らの一人っ子で、同じように進歩的でカウフマン家とフランク・ロイ

ド・ライトとの橋渡し役となりました。1934 年、彼はライトによって作成された共同建築プログラムであるタリアセンフェローシップに参加し、両親が最初に建築家に会ったのはタリアセンを訪れたときでした。その後すぐに、彼らはライトに落水荘の設計を依頼しました。



フランク ロイド ライトは多作なアメリカ人建築家で、1,000 を超える建造物を設計し、そのうち 532 が実現しました。1959 年に亡くなるまでの 70 年間にわたるキャリアの中で、ライトは世界で最も革新的な空間を創造することで、私たちの建築と生活を変えました。ライトは、そ

の先見の明のある作品により、史上最高のアメリカ人建築家の 1 人としての地位を固めました。落水荘は、ライトの芸術と自然の調和によるオーガニック哲学を最もよく体現しています。

決まり

落水荘とそのコレクション保護のために、10x10x3 インチ (25x25x8 cm) を超えるハンドバッグ、あらゆるサイズのバックパック、カメラ バッグ、三脚、およびその他の扱いにくいアイテムは、落水荘内では禁止されており、車内に置いておく必要があります。

落水荘の敷地または建物内での空中写真やドローンの飛行は許可されていません。

入場券を購入することにより、訪問者はすべての落水荘の写真、絵画、スケッチは個人的な使用のみであり、販売目的で提供したり、商業目的で利用したり、第三者に提供したりすることはできない事に合意したものとみなされます。

落水荘の訪問者は、写真やビデオ撮影に含まれる場合があります。訪問者は、自分の画像が販促資料やあらゆる形式のメディアで使用される事を許可したとみなされます。すべての画像は西ペンシルバニア保護区の所有物となります。

介助動物以外のペットは、落水荘や敷地内では許可されていません。

訪問中、お子様には常に 18 歳以上の大人の同伴が必要です。6 歳未満のお子様は、内部ツアーには参加できません。小さなお子様連れのご家族は、ガイド付きファミリーフィールドトリップまたはグラウンドバスを予約できます。

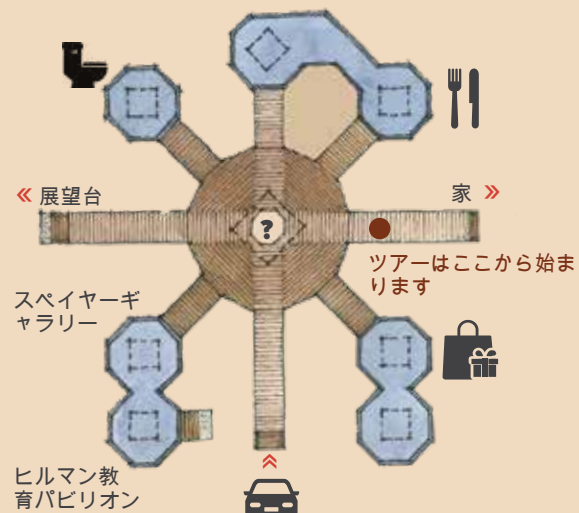
落水荘敷地内では、外部の食べ物は許可されていません。ピクニックエリアは、近くのベアラン自然保護区またはオハイオパイル州立公園で利用できます。

トイレはビジターセンターのみにあります。

当施設は搬入搬出施設です。ゴミ箱は用意していません。



ビジターセンター



- サービス
外国語ツアー
車椅子のツアのオプション
補聴装置
シャトル
傘

来場者情報

ゲストハウス

母屋

BEAR RUN



家

落水荘は、屋外生活が堪能できる家です。ピッツバーグで忙しい生活を送るカウフマン家にとっての別荘でした。そのユニークなカンチレバー構造は、構造的な表現に新しい自由をもたらしたとして、瞬間的にモダンの傑作として称賛されました。家族は1963年までフォーリングウォーターを使用し、その後、エドガー・カウフマン・ジュニアがそれを西部ペンシルベニア保全協会に委ねました。

- 橋 | 橋から、家がベア・ランの上に浮かぶように設計されたカンチレバー式コンクリートの積み重ねであることがわかります。
- 玄関 | 玄関では、ライトはフォーリングウォーターの設計に圧縮と解放を使用しました。トレリスの下を歩いて表玄関に向かい、東のテラスに左折します。圧縮され、その後解放される感覚をお楽しみ下さい。
- 東のテラス | 東のテラスから、オープンプランのリビングルームを覗いてみてください。すべてのテラスのドアと窓が開いているのを想像し、屋内と屋外の境界線が曖昧になっているのを想像してください。
- ポタリーテラス | ポタリーテラスは客室に隣接しており、カウフマン家の客人のためのプライベートテラスとして設計されていました。エドガー・カウフマン・ジュニアは、あなたの上の3階を使用していました。リビングルームの真上にはカウフマン家の主寝室とテラスがあります。

- 私道 | 砂利の私道は落水荘以前のもので、ライトはこれを自分の設計に取り入れることに決めました
- カーポート | 現在、元の4つのカーポートのうち3つがガラスのスクリーンで囲まれています。カーポートの上にはカウフマン家のスタッフ用の使用人室があります。
- 日よけ付きの通路 | ライトはこの優雅でありながら構造的に巧妙な日よけ付きの通路でゲストハウスを母屋に繋げました。支柱は片側にしかなく、日よけのデザインは滝を連想させるカスケードです
- プール | このプールは暑い夏の日にかウフマン家のお気に入りの場所でした。6フィート以上の深さがあり、カンチレバー式の石の階段が水中へと続いています。天然泉からの水を使用し、プールは直接ベア・ランに排水されます



1階平面図

FRANK LLOYD WRIGHT'S FALLING WATER

